

道央自動車道

R 9 北広島管内舗装補修工事

参 考 図

令和 8 年 8 月

東日本高速道路株式会社

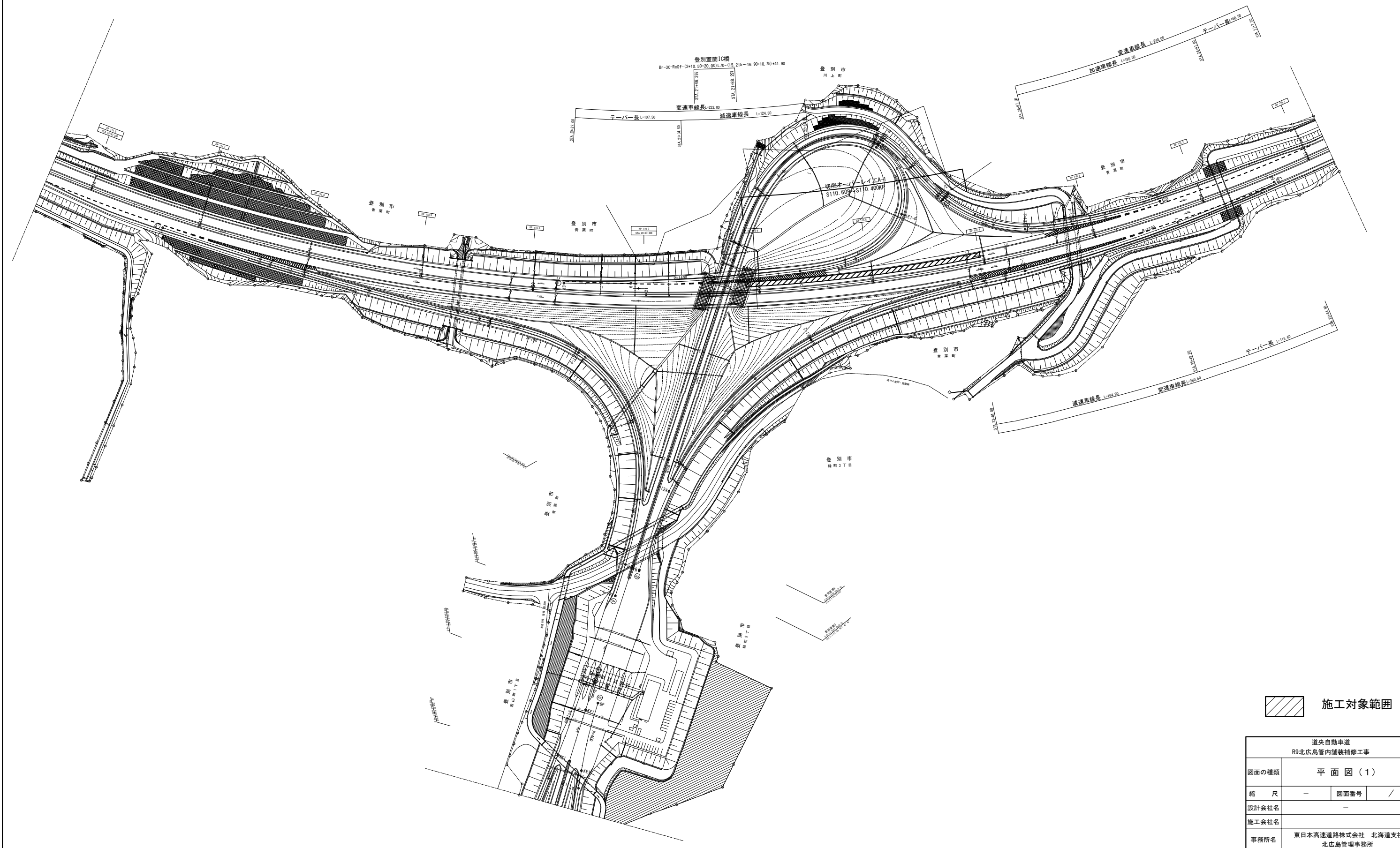
北海道支社 北広島管理事務所

目 次

番号	図 面 名 称	図面番号
1	平面図（１）～（２）	１～２
2	既設埋設物等詳細図	3
3	切削オーバーレイ工 施工詳細図	4
4	萩野橋 橋梁一般図	5
5	長都川橋 橋梁一般図（１）～（２）	6～7
6	輪厚ＰＡ（下り線）歩道改良施工ステップ図	8

平面図（１）

【登別室蘭インターチェンジ】

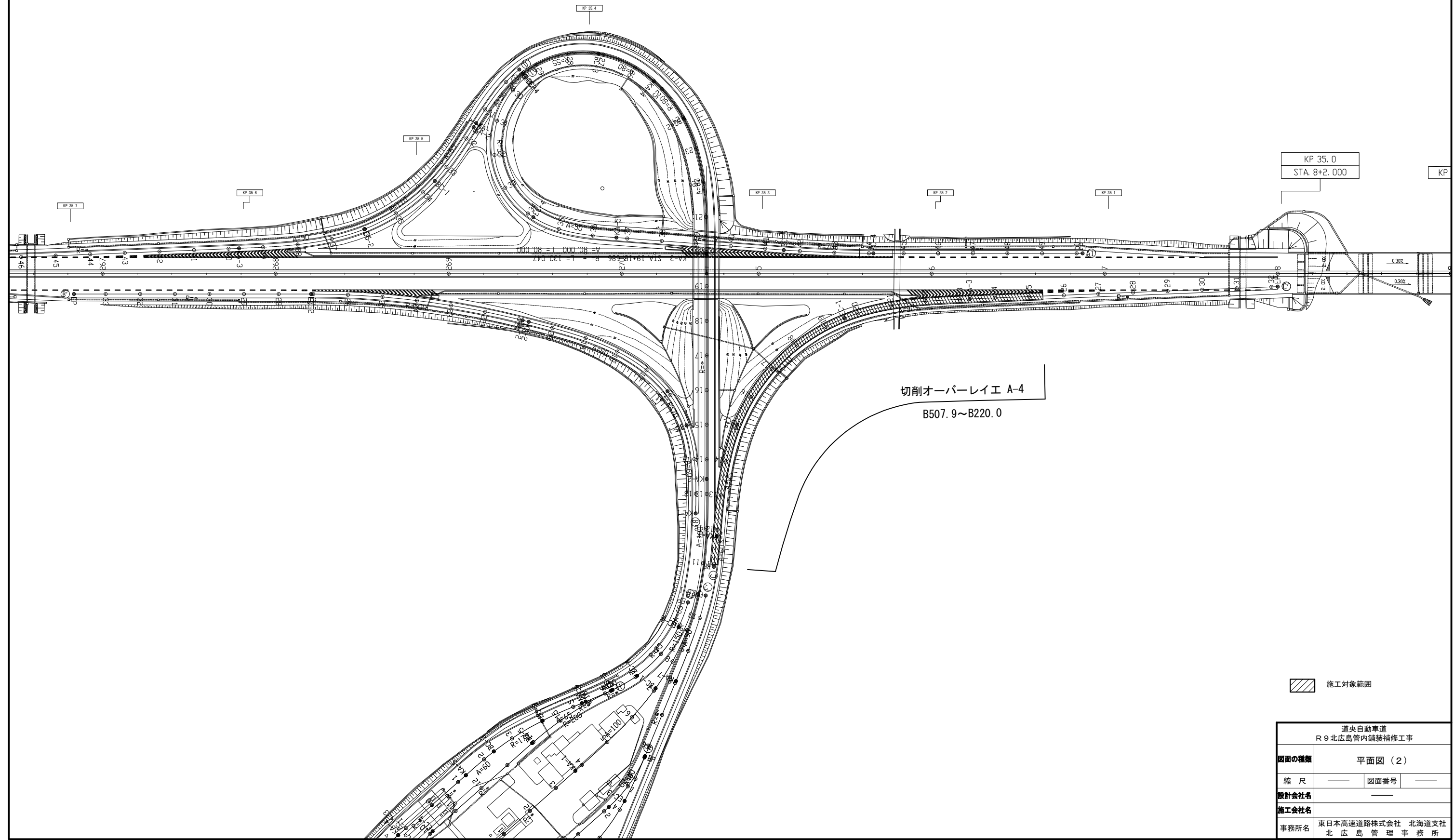


 施工対象範囲

道央自動車道 R9北広島管内舗装補修工事			
図面の種類	平面図（１）		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

平面図（２）

【千歳インターチェンジ】

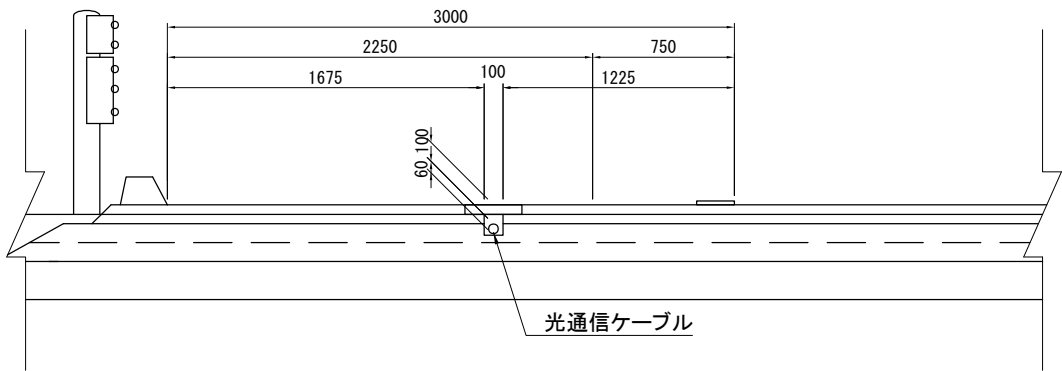


道央自動車道 R 9 北広島管内舗装補修工事	
図面の種類	平面図（２）
縮 尺	— 図面番号 —
設計会社名	—
施工会社名	—
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北 広 島 管 理 事 務 所

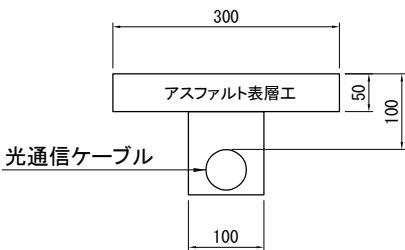
既設埋設物等詳細図

光通信ケーブル埋設詳細図（土工部）

光通信ケーブル標準横断図



光通信ケーブル断面図



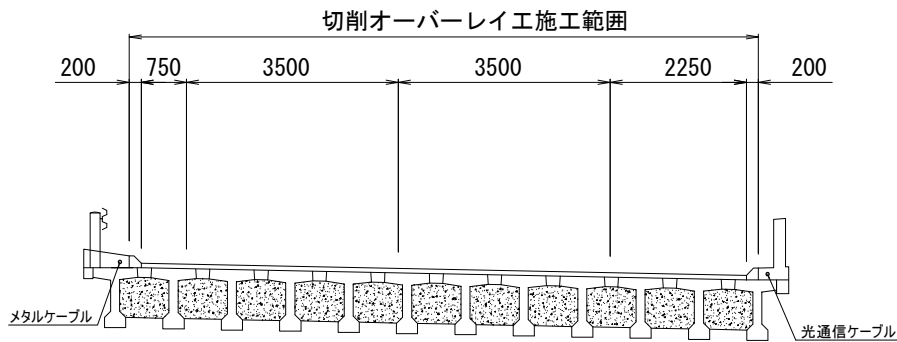
光通信ケーブル路肩埋設区間

IC区間	上下線	道路構造	備 考
白老IC～苫小牧西IC	上り線	土工部(上層路盤内)	
苫小牧西IC～苫小牧中央IC	上り線	土工部(上層路盤内)	一部路床内
苫小牧中央IC～苫小牧東IC	上り線	土工部(上層路盤内)	
苫小牧東IC～新千歳空港IC	上り線	土工部(上層路盤内)	

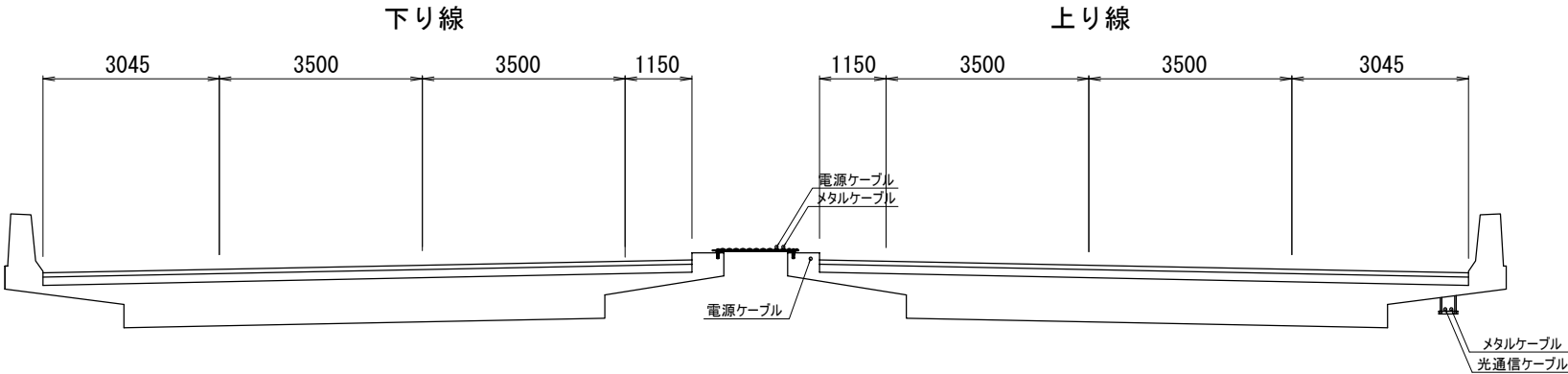
表内に示す範囲は上記図のとおり路肩舗装内に設置されている区間を示す。
表外の区間については、中央分離帯(コンクリートシール内)等舗装補修工に影響ない箇所に設置

光通信ケーブル埋設詳細図（橋梁部）

萩野橋 上り線



長都川橋



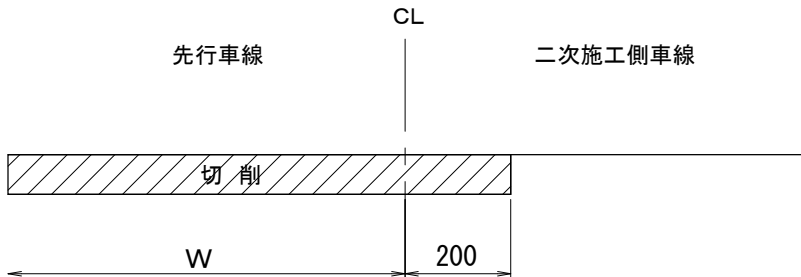
道央自動車道 R9 北広島管内舗装補修工事			
図面の種類	既設埋設物等詳細図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

切削オーバーレイ工 施工詳細図

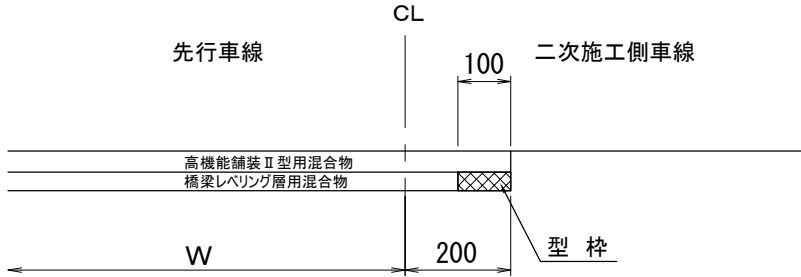
切削オーバーレイ工B-1施エラップ詳細図

サーフェースダウン箇所

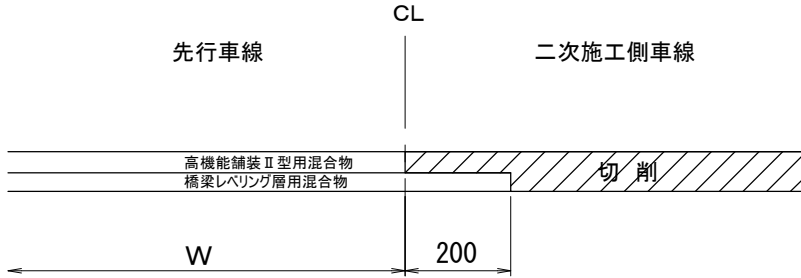
①先行車線切削工



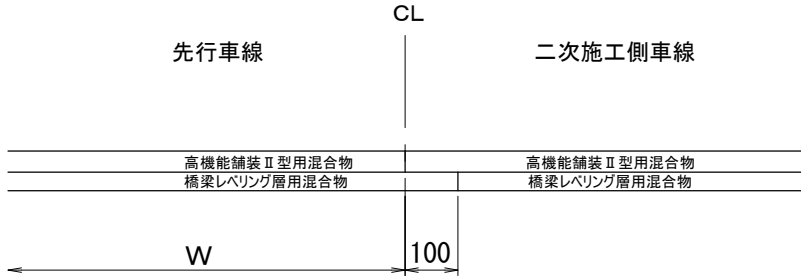
②先行車線舗設



③二次施工切削



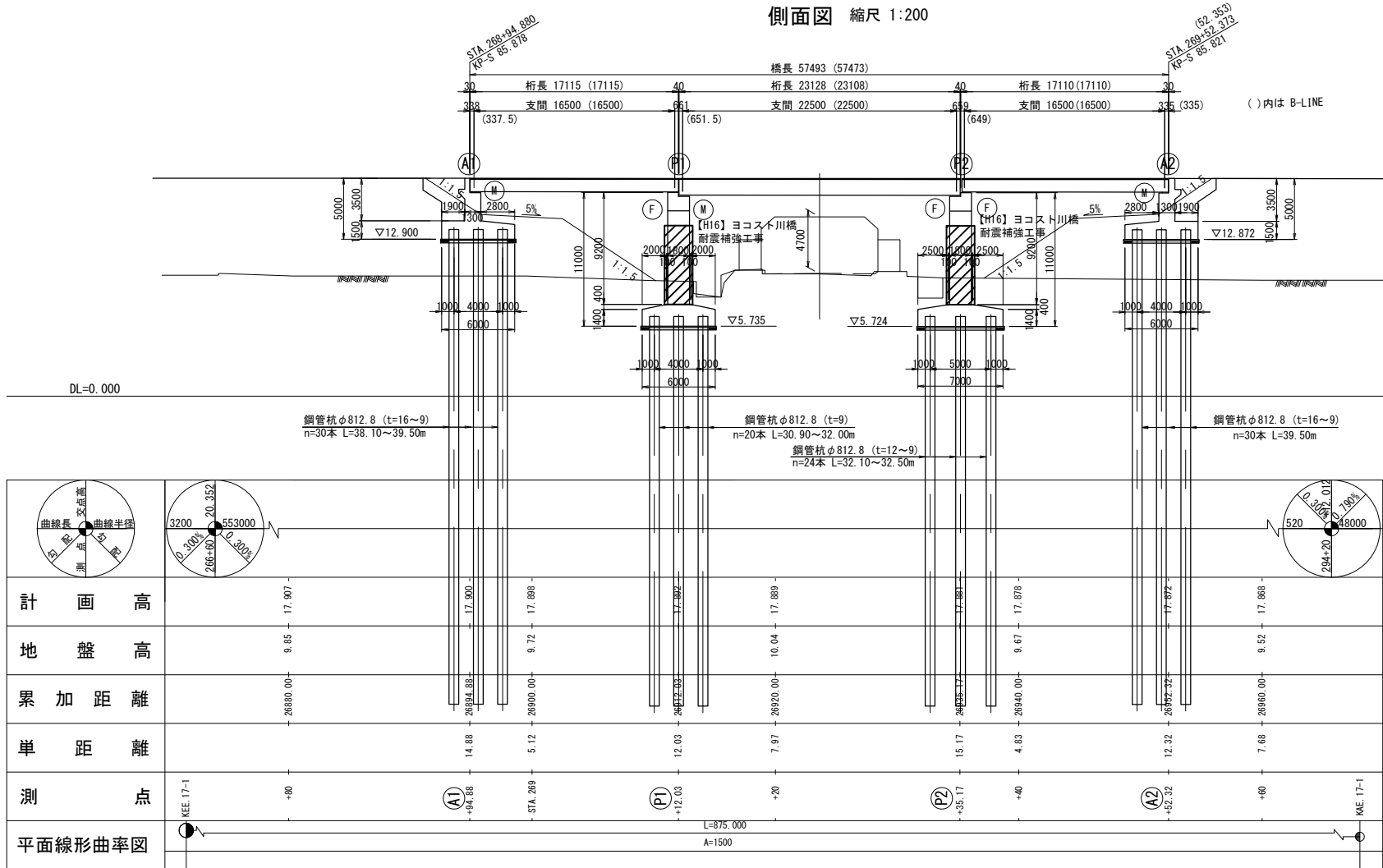
④二次施工舗設



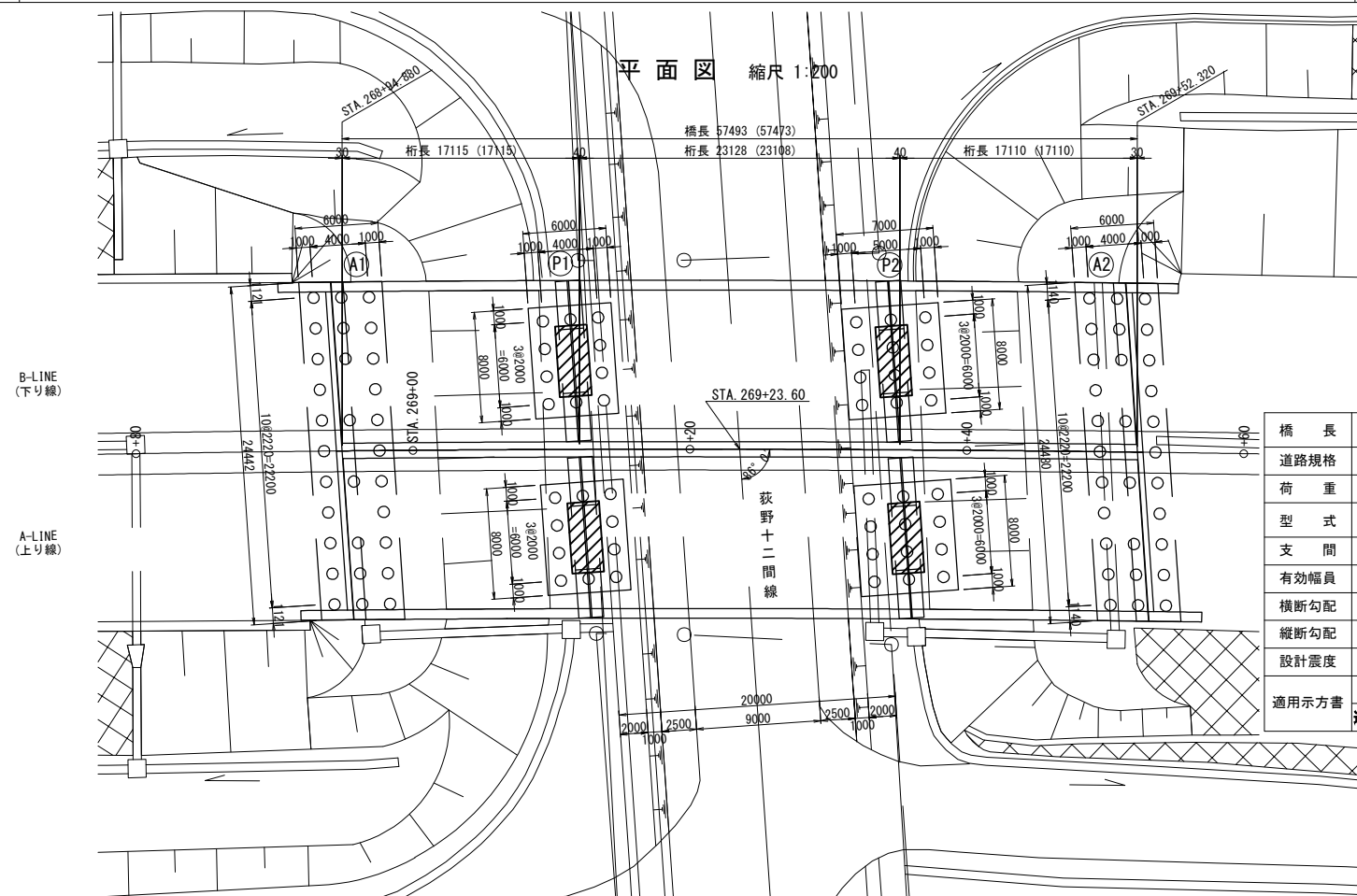
道路名	IC（自）	IC（至）	上下線	車線	IC（自）	IC（至）	延長（m）	切削オーバーレイ工種別	備考
道央道	登別東	白老	下り線	走行車線	S94.100	S93.800	300	A-1	

道央自動車道 R9 北広島管内舗装補修工事			
図面の種類	切削オーバーレイ工 施工詳細図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

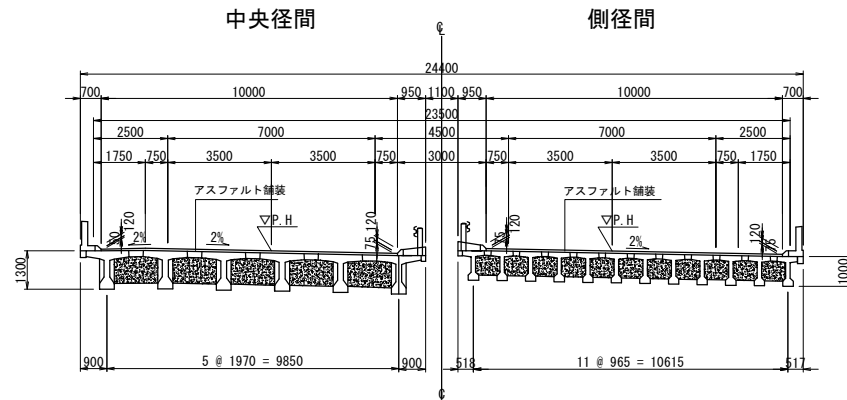
側面図 縮尺 1:200



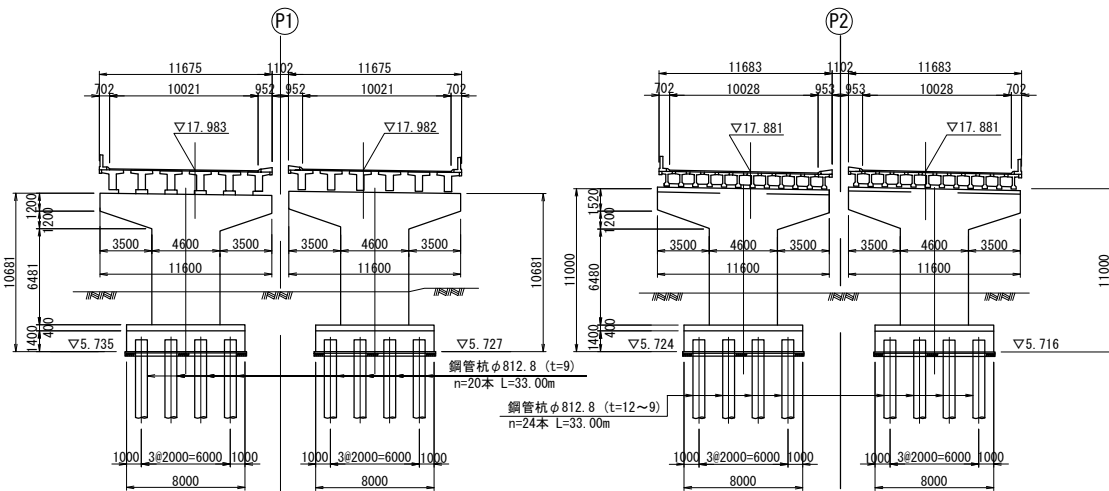
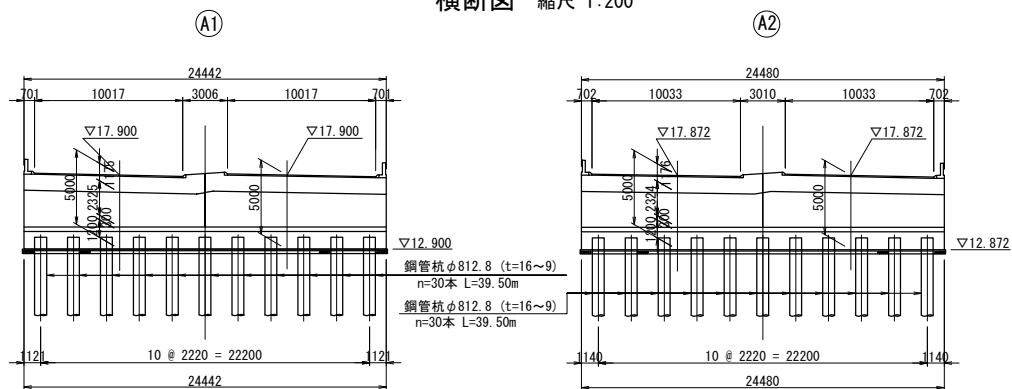
平面図 縮尺 1:200



標準横断面図 縮尺 1:100



横断面図 縮尺 1:200



設計条件

橋 長	57.440m	桁 長	17.100m×2 23.100m×1
道路規格	1種2級A		
荷 重	TL-20, TT-43		
型 式	P.C プレテンション単純 T 桁橋 P.C ポストテンション単純 T 桁橋		
支 間	16.500m+22.500m+16.500m		
有効幅員	10.000×2	斜 角	R=86° 00'
横断勾配	2.000%		2.000%
縦断勾配	0.300%		R=553000
設計震度	水平震度 0.24		
適用方書	道路橋示方書 (コンクリート橋編) 昭和53年 道路橋下部構造設計条件(基礎)の設計篇 昭和51年		

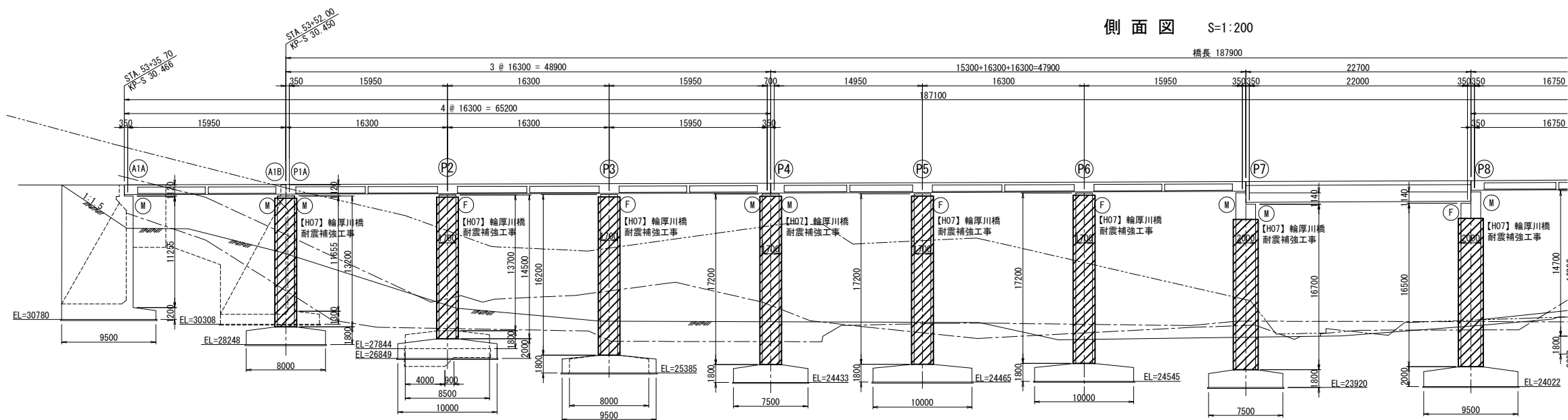
材料強度

コ ン ク リ ー ト	プレテンション T型桁	ポストテンション T型桁	床版 横げた
設計基準強度	500kg/cm ²	400kg/cm ²	350kg/cm ²
許容曲げ圧縮応力度	160kg/cm ²	140kg/cm ²	125kg/cm ²
許容曲げ引張応力度	18kg/cm ²	15kg/cm ²	0kg/cm ²
プレストレス導入時圧縮強度	350kg/cm ²	325kg/cm ²	290kg/cm ²
粗 骨 材 最大寸法	25mm	25mm	25mm
PC 鋼 材	φ12.4mm	12-φ7mm	12-φ5mm
引 張 強 度	175kg/mm ²	155kg/mm ²	165kg/mm ²
降 伏 点 応 力 度	150kg/mm ²	135kg/mm ²	145kg/mm ²
許容引張	設計荷重時 105kg/mm ²	93 kg/mm ²	99kg/mm ²
応 力 度	緊張作業時 135kg/mm ²	121.5kg/mm ²	130.5kg/mm ²
コ ン ク リ ー ト	下部工		
設計基準強度	240kg/cm ²		
許容曲げ圧縮応力度	80kg/cm ²		
鉄 筋	降伏点応力度	許容引張応力度	
SD30	3000kg/cm ²	1800kg/cm ² (床版 1400kg/cm ²)	

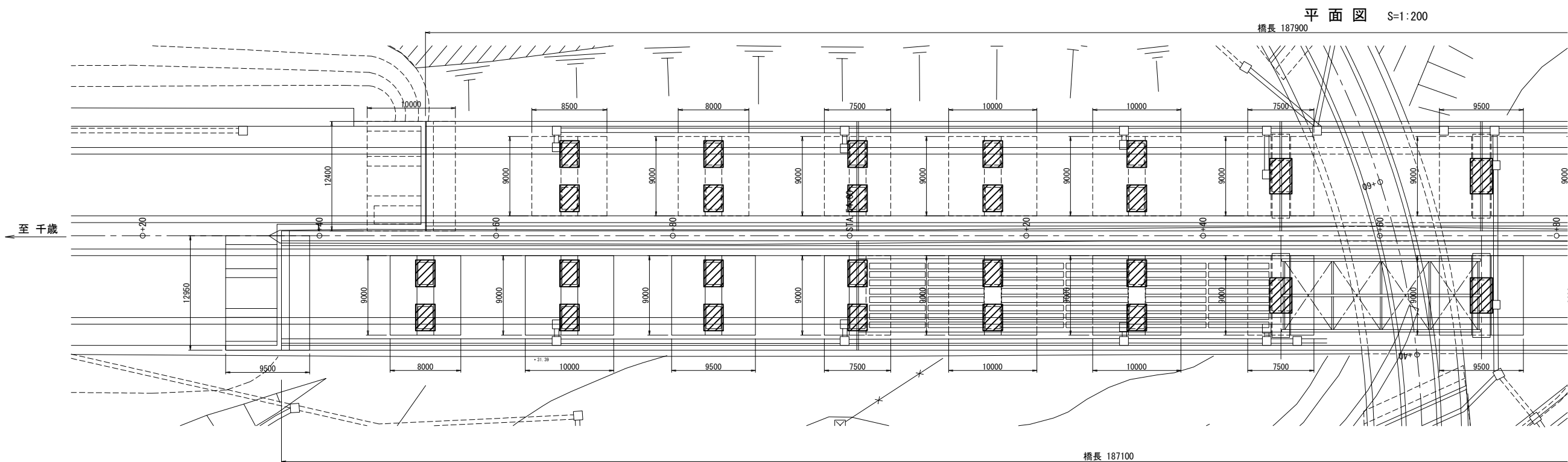
凡例	
	R C巻立て補強
	繊維巻立て補強
	鋼板巻立て補強

道央自動車道 R9 北広島管内舗装補修工事			
図面の種類	萩野橋 橋梁一般図		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北広島管理事務所		

長都川橋 橋梁一般図（１）



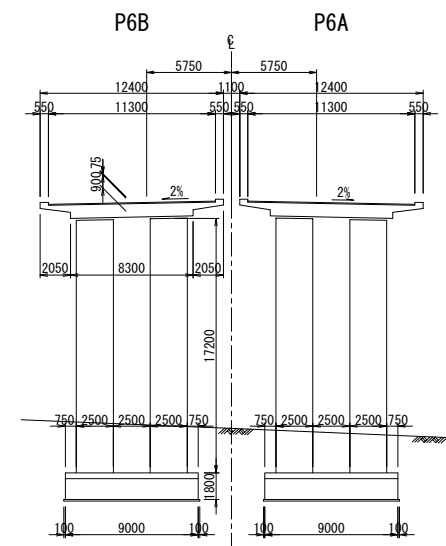
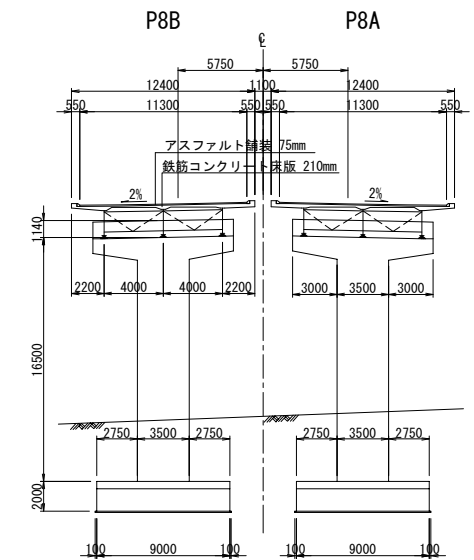
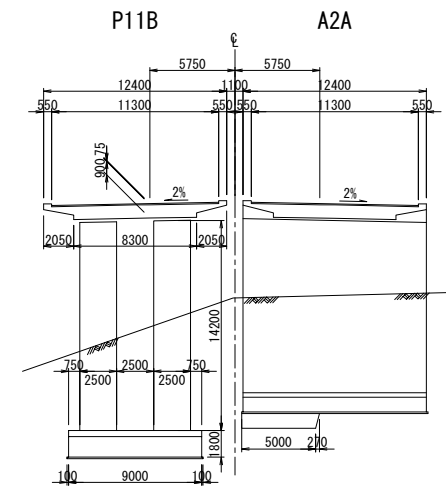
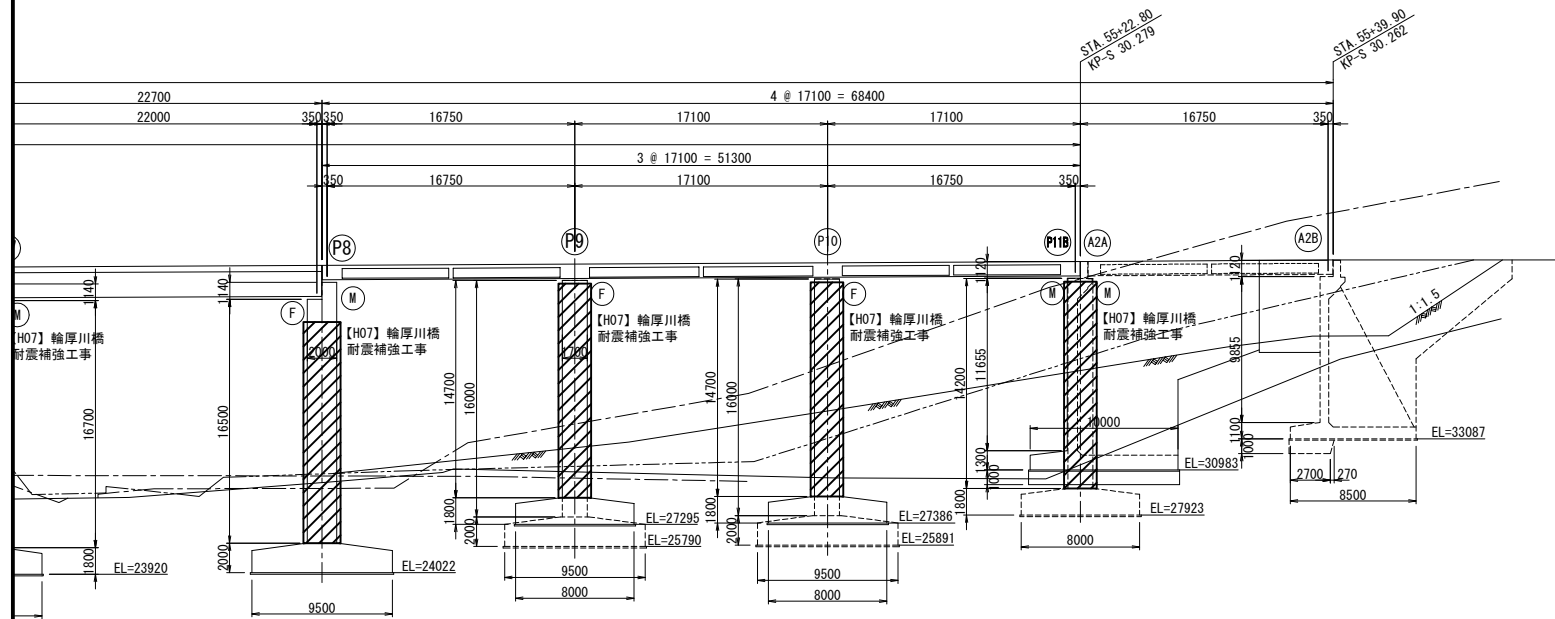
計 画 高										
	44.370	44.378	44.400	44.417	44.437	44.465	44.478	44.523	44.525	44.575
地 盤 高										
	35.7	40	43.60	35.60	44.417	31.60	44.465	31.50	28.70	31.00
測 点	-35.7	-40	-42	-46	-48.3	-80	-84.6	54 + 0.99	-16.2	-20
平面線形曲率図	R=∞ L=735.921									
片勾配すり付図										



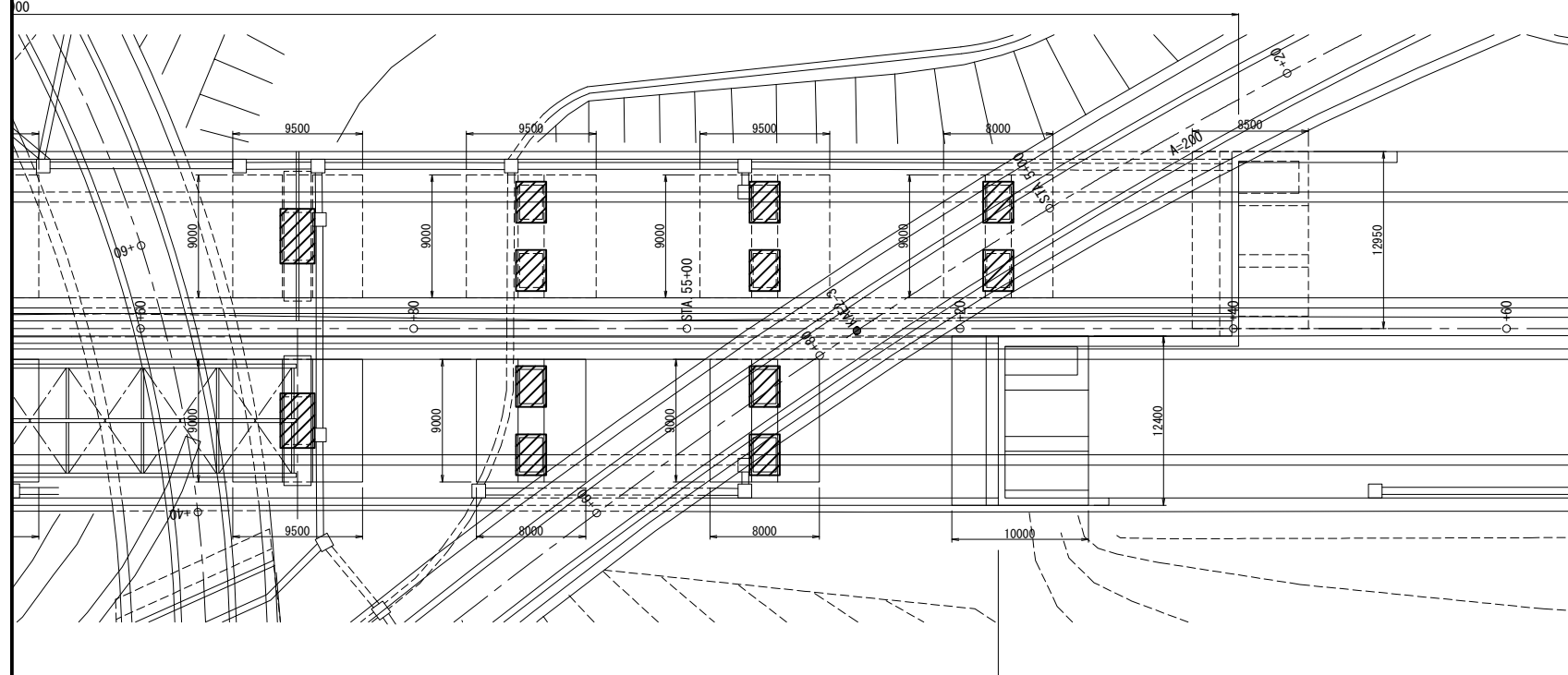
道央自動車道 R 9 北広島管内舗装補修工事		
図面の種類	長都川橋 橋梁一般図（１）	
縮 尺	図面番号	
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北 広 島 管 理 事 務 所	

長都川橋 橋梁一般図 (2)

横 断 図 S=1:200



平面图 S=1:200



設計条件

下り

型 式	RC3・4径間連続中空床板桁		鋼単純合成板桁
橋 長	187.9 m		
桁 長	48.855+47.855+68.355		22.5
支 間	(15.95+16.3+15.95) + (14.95+16.3+15.95) + (16.75+2@17.1+16.75)		22.0
幅 員	11.3		
荷 重	TL-20	雪荷重	100kg/cm2
衝撃係数			0.278
設計震度	Kh=0.20 Kv=±0.10		
斜 角	90°		
適用示方書	昭和39年 道路橋示方書		

設計条件

上り

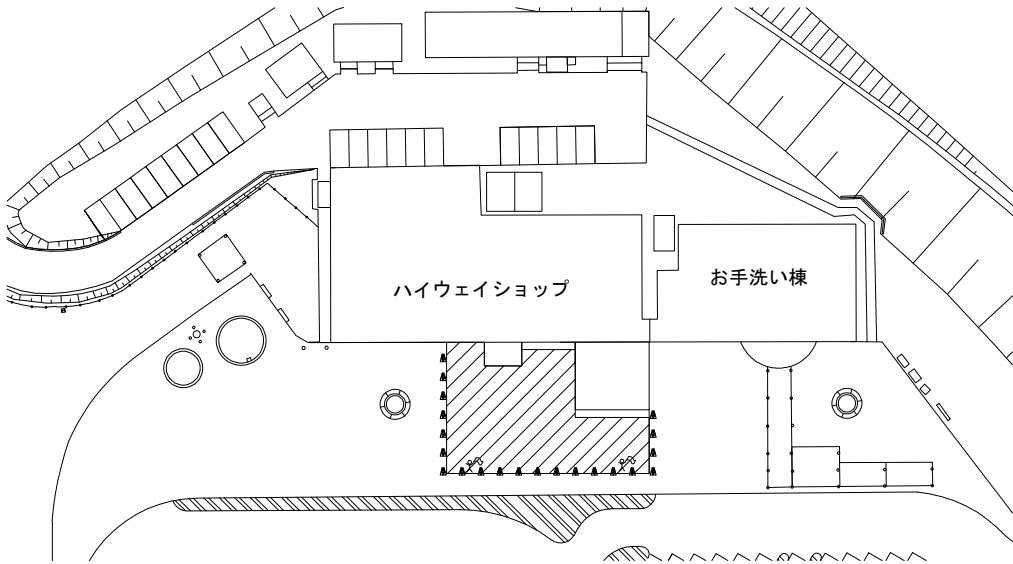
型 式	RC3・4径間連続中空床版桁		鋼単純合成版桁
橋 長	187.1 m		
桁 長	65.155+47.855+51.255 (15.95+2@16.3+15.95) + (14.95+16.3+15.95) + (16.75+17.1+16.75)	22.5	
支 間	22.0		
幅 員	11.3		
荷 重	TL-20 雪荷重 100kg/cm2		
温度変化	t±20℃		
衝撃係数	i=20/(50+L)		0.278
設計震度	Kh=0.20 Kv=±0.10		
斜 角	90°		
適用示方書	昭和39年 道路橋示方書		

道央自動車道 R 9 北広島管内舗装補修工事			
図面の種類	長都川橋 橋梁一般図 (2)		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北 広 島 管 理 事 務 所		

輪厚P A（下り線）歩道改良施工ステップ図

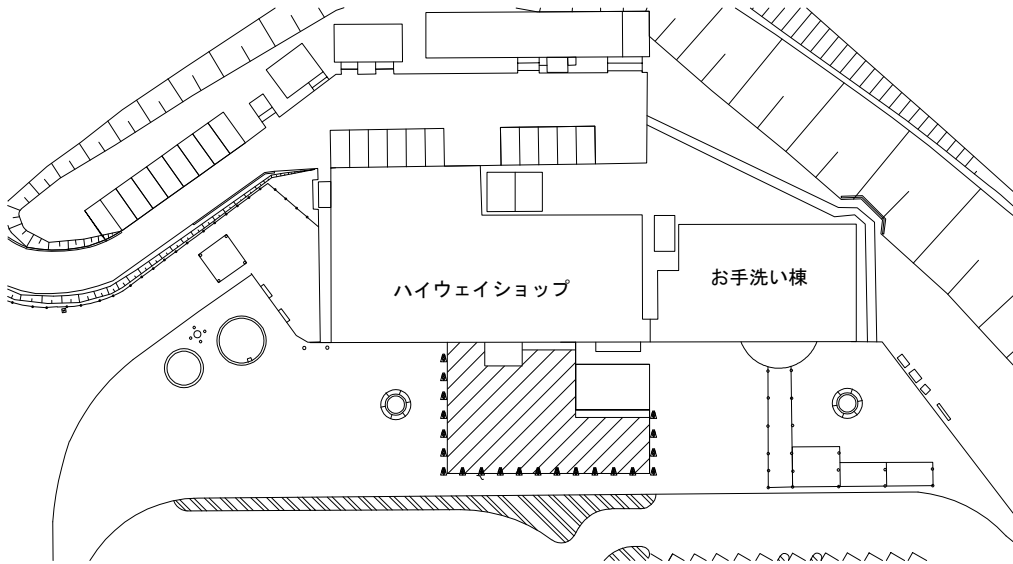
輪厚P A（下り線）歩道改良

舗装取壊工施工時



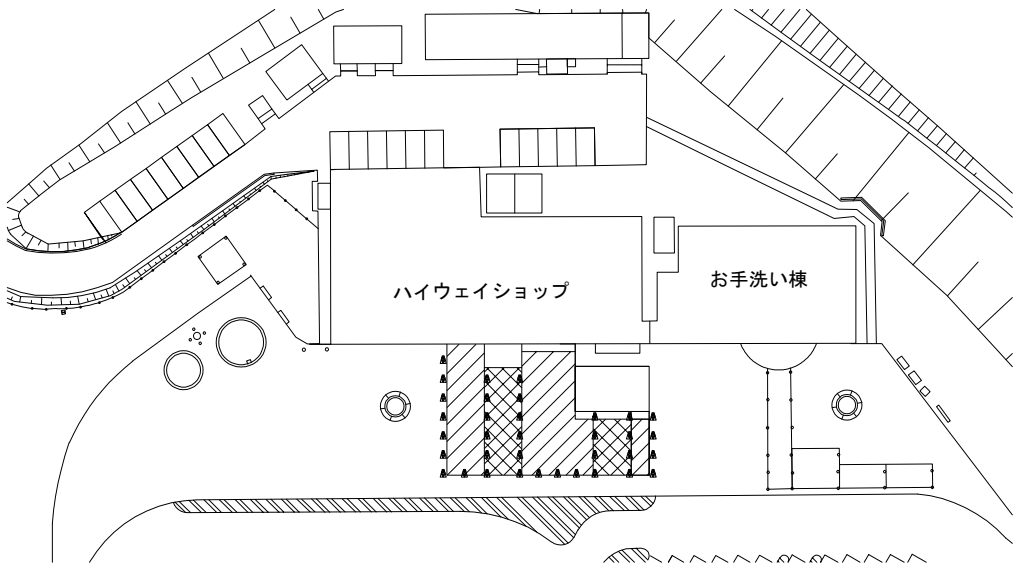
- ・配置される交通誘導警備員は、工事車両の監視、誘導を行うものとする。
- ・配置は作業時間のみとし、交代要員は不要とする。
- ・舗装取壊工施工時は、施工範囲にはラバコーン等を設置し、作業を行うものとする。

インターロッキングブロック舗装施工時



- ・上記図は輪厚P A（下り線）インターロッキングブロック舗装施工時の標準配置とする。
- ・インターロッキングブロック舗装施工時の交通誘導警備員の配置は原則不要とする。
インターロッキングブロック舗装施工時は施工範囲にはラバコーン等を設置し、作業を行うものとする。

昼間開放時（休工時）



- ・上記図は輪厚P A（下り線）昼間開放時（休工時）の標準図とし、交通保安要員は配置しない。
- ・店舗及び売店前はゴムマット等用いて段差解消し、仮通路を設けるものとする。
仮通路不要箇所は、ラバコーン及びコーンバー等を用いて侵入防止対策を実施するものとする。

記号説明事項

	交通誘導警備員B 2
	ラバコーン(反射帯付)
	仮通路設置範囲
	仮通路不要範囲

道東自動車道 R 9 北広島管内舗装補修工事		
図面の種類	輪厚P A（下り線） 歩道改良施工ステップ図	
縮 尺	—	図面番号 /
設計会社名	—	
施工会社名	—	
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 北 広 島 管 理 事 務 所	